

え、市役所を建て直す？



あと数十年は使える市役所です。



「複合施設検討委員会」名で審議会を創設済み。ワンストップ・サービスが可能になるとの説明。

2027年に新築 85億円

本庁舎・第二庁舎
保健センター
子育て支援センターを統合
場所は未定

◆市役所は、2015年度に11億円以上かけ耐震化を実施したばかりです。構造・屋上・電気・機械設備はA評価と高い評価です。

2021年6月議会の質問では
問 まだ十分使用可能。活用すべきでは
答 いずれは避けて通れない課題。

みなさん、ご存じでしょうか。今、久喜市の公共施設を統廃合するなど、個別の施設計画が進められています。今後の施設のあり方は、市民の合意と納得のもとに進められるべきではないでしょうか。個別計画の第一期2029年までの個別施設の計画、このまま進めてよいのか。ごいっしょに考え、住みよい久喜市をつくりましょう。

**公共施設の統廃合は
市民の合意と納得が大前提！**

個別計画の概要	課題と問題点は
「久喜市新総合複合施設整備」を検討 市役所本庁舎や保健センターの新設計画	11億円かけ耐震化したばかり。数十年は使用可能な施設を廃棄するのは無駄使いの最たるものでは。
各地区の保健センターを統合し、本庁舎に併設	近くにあるからこそ利便性が高く利用できる。ワクチン接種の際には近くにあって助かったの声も。
公民館をコミュニティセンターに転用する	社会教育を推進する公民館事業の後退を招くことに。
障がい者施設を民間に譲渡	自治体は「住民の福祉の増進をはかることが基本」では。
市立保育園を民間譲渡する	市が運営する保育園があつてこそ安心の保育事業が。
ごみ処理施設に温浴施設を併設し、菖蒲・鷺宮の温水プールは除却する。	身近な場所にあるからこそ利便性が高く利用しやすい。
集会所の管理運営を、自治会に移行。	管理費・建て替えを自治会が担うのが困難な場合は「除却」するとなれば、コミュニティが壊れるのでは。

◆人口減少をくい止める、子育て支援策や若者世代への支援策こそが求められるのでは。

久喜市の公共施設個別施設計画 統廃合・民営化計画 栗橋地域の概要を抜粋して掲載

施設名	計画	2022	2023	2024	2025	2026～9	その後
栗橋総合支所	集約化(機能縮小) 市民プラザに移転			栗橋市民プラザ 新築	除却		
栗橋公民館(ハクレン館)	中央コミセンに転用 公民館機能廃止	廃止 転用					
栗橋中央コミセン(しずか館)	ハクレン館に機能移転	移転			除却		
栗橋文化会館図書館	文化会館より移設			図書館移設			集約化 除却
市役所本庁舎	新庁舎に機能移転					新本庁舎	除却
栗橋健康センター	新本庁舎に機能集約化					新築	除却
健康福祉センター くりむ	子育て支援機能複合化 後に廃止・除却		複合化				廃止 除却
くりの木	民間譲渡 市のサービス廃止	民間譲渡					
文化会館	久喜に集約						集約化 除却
栗橋幼稚園	中央幼稚園(旧久喜)を統合				集約化		民間譲渡
栗橋地域子育て支援センター(くふる)	(くりむ)に機能移転		移転				
栗橋B&G海洋センター							廃止
市営住宅松永団地					廃止		
旧栗橋第一幼稚園(間鎌)	園舎を取り壊し、公園にすることも念頭におきつつ、売却も含めて検討						